

1 ワークショップに期待すること

最小最適規模の行政経営における行政サービスのさらなる向上のためには、地域のあらゆる情報を共有したうえで、一人ひとりの力を発揮した町民参画を一層進め、町（地域）への誇りと愛着、町民相互のパートナーシップを深めることが重要である。今回、ワークショップを実施することにより、町の課題を共有し、町民のニーズを的確に捉え、町民と町民、町民と行政がつながり、互いに補完し合いながら、総合計画を策定し、まちづくりを進めるきっかけとすることができる。

ワークショップの主たる目的

- ① 町民の声を聴きその真因を探ることで、町の課題と、求める町の将来像を町民と共に考え、基本構想を作成する。
 - 町民からの小さい意見やアイデアについて、ワークショップを通じ「なぜそう思うのか」を問い、根本にある考えを引き出しながらまとめることで、町民が求める町の将来像を、基本構想に取り入れることができる。
- ② 前野教授による幸福学の講義を前提に、町民と町が課題を共有し、まちづくりを“自分達でやる”きっかけづくりとする。
 - 町の課題を共有したうえで、人が幸せだと感じるための4つの因子（やってみよう！ありがとう！なんとかなる！あなたらしく！）とまちづくりを関連づけ、幸福度に一番起因する、やってみよう！因子を高めるために、自分たちができることを模索するきっかけとする。
- ③ 同じ想いを持つ町民と行政が“仲間づくり”をすることで、住民目線では“仲間づくり”、行政目線では仲間づくりに加え“行政への参加”を促す機会とする。
 - アイデアを持ちより話し合うことで、町民同士がつながり、課題解決に向けた話し合いを促す機会とする。高座のこころ。のテーマの一つでもある“人とのつながり”を持つことでワークショップの参加者に幸福度が向上したことを実感してもらう。
- ④ 町民のアイデアをまとめたり、掛け合わせて、わが町ならではのアイデアを総合計画へ落とし込む。
 - 共通するアイデアをまとめたり、一見共通項のないアイデアを掛け合わせ、多くの視点から検討することで、今までにない施策や、町ならではの魅力を想起する機会とする。また、町民から得たエッセンスを醸成させ総合計画へ落とし込む。

2 対象者

寒川町に在住、在学、在勤する者

3 幸福学に基づく幸福度調査について

幸福学に基づく幸福度調査を行い、町民の幸福度を数値化し比較することで、寒川町の強みと弱みを把握し、基本構想策定のための材料とする。 ※町民ワークショップにおいて結果を活用する。

令和元年7月4日～7月17日 町内中学2年生の保護者を対象に実施

令和元年8月1日～8月14日 町民を対象に実施 ※時期をWSに間に合うよう調整する。

令和元年8月4日～ 町職員を対象に実施

4 講演会及び町民ワークショップの日程

① 前野先生講演会（キックオフ）	8月18日（日）	18時～19時30分
② 全体ワークショップ	8月31日（土）	13時～15時30分
③ 分野別ワークショップ（環境・水と緑）	9月23日（月祝）	10時～12時
④ 分野別ワークショップ（医療・福祉）	9月23日（月祝）	14時～16時
⑤ 分野別ワークショップ（交通・防犯）	9月28日（土）	9時30分～11時30分
⑥ 分野別ワークショップ（教育・文化）	9月28日（土）	13時～15時
⑦ 分野別ワークショップ（産業・観光）	9月28日（土）	17時～19時
⑧ 地区別ワークショップ（北部地区）	10月22日（火祝）	9時30分～11時30分
⑨ 地区別ワークショップ（中部地区）	10月22日（火祝）	13時～15時
⑩ 地区別ワークショップ（南部地区）	10月22日（火祝）	17時～19時

※10月19日（土）に中学生等、次世代を対象としたワークショップを検討中。

※日程については変更の可能性あり。

5 基本構想策定に係る日程

令和元年8月～11月 町民ワークショップの実施。

令和元年12月～1月 町民の意向を吸い上げ、基本構想案を作成。

令和2年2月 基本構想（案）の決定（全庁会議による了承）。

6 基本構想の再構成

現状の総合計画において設定されている5つの基本目標と12の施策の方向について、町民とのワークショップを通じ、まちづくりに関するエッセンスを抽出し、次期基本構想を再構成する。

